

橘川地区

日付：令和5年7月12日（水）

場所：橘川支所

会場：23名 オンライン：12名

出席者：市長 企画政策部長 建設事業部長 企画課長 都市計画課長 企画係長 計画係長 企画係1名 デジタル戦略課1名 計画係1名

グループごとの発言

■ グループ①

- ・ 高齢化ということで65歳以上の人口について話があったが、私も65歳だが高齢者に入っているという実感がなく、まだまだやりたいこと、できることがあるのかなと考えた。定年退職した方で物作りをしてみたいと言う方が結構いらっちゃって、どこでできるかといろいろな所で聞かれる。
- ・ 伝統工芸を教える先生は大勢いるのでそういう人たちを誘致できたらいいのではないかと。本当は若い人がたくさん来てくれればいいが、そこまでのマンパワーが不足していて難しい。定年退職した方たちはお金を持っているので、色々なお世話をしなくても多分大丈夫だと思い、こういうところに誘致できないかなと考えてみた。キャッチフレーズは「定年退職をしたら伝統工芸」。

■ グループ②

- ・ 私も見てるようでいて、見ていないこともたくさんあったため非常に勉強になった。目指す都市像のところで「多彩な暮らし 叶えるまち」という案が出ていたが、これがどんな経緯でどんなふうになられているのかなという所を少しお伺いしたい。
- ・ 最近よく聞くようになったが、大きな問題として世界的には人口爆発してる中で、日本が一足早く人口減少に移っている。それも大幅な人口減少。その中で、世界から見ると日本の強み弱みがお話されていた。まず、弱みについて。これだけ人口が減少してくると、経済は弱小化していく。また、軍備、軍事というと軍隊を持っていないため、ここも世界レベルにはいかない。ただ、強みについては、観光インバウンド、文化、アニメーションが、これからの見通しの中で日本が世界と戦える武器になるんじゃないかと言われている。
- ・ 塩尻市を見ると田園都市と書かれているが、ここは観光インバウンドに対して非常にインパクトのある部分じゃないかなと思う。また、日本の強みである文化の面からは、塩尻市は文化文明が始まった縄文時代から遺跡だとか、コストをかけた施設もたくさんある。平出の資料館も新しく移されるという話もあるため、そういった文化文明のところから、中山道の各宿場町、400年の工芸の木曾漆器というような、文化というキーワードの中でも一番キーワードになるところ、キャッチコピーになるところを残していかない手はないかなと思う。塩尻市が他地域よりも優れているのであれば、文化を武器としてぜひ表に出してもいいキーワードではないかと思った。

■ グループ③

- ・ 奈良井宿の観光協会の役員をやっているの、観光についてお話をさせていただきたい。コロナがほぼ開けて、塩尻市長が部長の頃から様々な施策をしていただき、奈良井宿の観光事業者は1つも潰れることなくやっている。代表してお礼を申し上げる。
- ・ 地区の強みとか弱みについてお話させていただきたい。奈良井宿は春から秋まで多くの観光客が来るんが、長年の課題として冬の観光が非常に課題になっている。冬になると皆さん出稼ぎに出るなど、そういった部分の課題を解決することが必要になってくるのではないかと考えている。私事だが奈良井宿の道の駅の横でお店をやっているが、ゴールデンウィークに警察官が来て「ちょっと困りました」と私のところにクレームを言ってきた。恐らく、警察官は私のことを道の駅の支配人か何かと思ってクレームを上げてきたと思うが、国道の方まで車が渋滞してしまって、停車帯にはみ出して観光客が車を停めているということだった。要するに、観光シーズンになると、駐車場が不足してしまうという状況が多々生じてきているということ。塩尻市には、奈良井宿に新しい有料駐車場をどこかに整備していただけないか。

- ・ 地区の課題では、非常に高齢化が進んでいる。今後10、20年後には観光に携わる事業者が大幅に減少してしまい、下手をすると半数以下になってしまう恐れがある。そうなると、持続可能な観光地としては成り立たなくなる可能性が非常に大きいため、移住者を増やす取り組みをぜひ市にはお願いしたい。
例えば、移住促進住宅の整備や、新しく事業を始めたい方に対して補助金を交付するなどの施策をやっていただくことによって、若い人がチャレンジしやすくなるのではないかと考えている。いろいろ課題はあるが、ぜひ奈良井宿も市の中でも随一の観光地だと思うので、その観光地を発展させるために今以上のご協力の方をお願いしたい。

■ グループ④

- ・ 基本的な地区の悩み、困ってることは、いろんな方々からもうお話を聞いていただいていると思うので、継続してご検討いただいたり、地域の私達も一緒になって考えて行動していければいいと思う。
- ・ 楯川地区の資料を見ていて市の方が資料を見ながら書いてくれているので、それはそれで大変ありがたいと思う。奈良井宿の観光や贄川も含めた宿場は、全国にも宿場町の観光地として同じようなところたくさんある。楯川地区で観光を含めて強みとしてやっていくことを考えてみた。私は平沢の人間なので平沢を中心に話をしてしまうが、漆器の産地が全国にあるが、全国の産地の中であいう集約された歴史的な町並みの中に住まいとともに産業が発達して、そこで生産され流通させている地域は他にはないと思う。
- ・ 工業団地的な中に生産があったり、観光地としてはやはりその部分では不利なところもあります。地域の地域資源の中で、町並みがあり、産地としても生産されている、だからこそ重要伝統的建造物群保存地区に指定されているんだと思う。その辺は、全国を見ても産地地域であるってことは強みになるはずなので、その辺を改めて認識していただいて
奈良井宿・平沢・贄川という3地区の連携などという意味でもこの地域の強みを見出していきたいなと思う。
- ・ 弱みとしては、こういう地域だからこそ地理的なことがあって、交通など様々な問題があると思う。桜沢トンネルも開通してだいぶ冬場の問題は解消されてきているが、交通手段に選択肢がないことはこの地域の課題でもあり、医療にも繋がると思う。ただ、この地域なりの良さが塩尻市の中でもやはりあると思うので、世界に通じる技術を持っている地域や、歴史文化というところに深みがあるので、市としてもこの地域のことをもう少し深掘りしていただいた中でそれを共有していただければなと思います。
- ・ 楯川地区のハザードマップを見ると、大事な施設が災害の指定地区の中に入ってしまうことが分かる。私も以前、消防をやっていたが、避難場所とこの危険区域が重なっていて「どこに避難すればいい」ということが本当になく地域なので、住んでいる者としては今災害が大変多いところなので災害の危険地域ばかりだけど、安全な避難場所がどこなのかを具体的にお示しいただくことも住む者の安心としては、消防団と協議していただきたいと思う。